

東京都障害者差別解消法ハンドブックの改訂について

1 概要

本ハンドブックは、事業者や、区市町村及び都庁内各部局が障害者差別解消法に適切に対応するための資料として、平成28年3月に作成した。

平成30年度、東京都障害者差別解消条例の施行に当たり、その内容等を盛り込んでおり、今回は2回目の改訂となる。

2 改訂内容（詳細は裏面を参照）

（1）改正法及びその基本方針の内容を変更、追加

（2）具体的な対応事例の追加

事業者の合理的配慮の提供の義務化に当たり、参考となる事例を追加する。

（3）各障害種別の配慮事項や事例の追記

事業者の合理的配慮の提供の義務化に当たり、参考となる配慮方法や事例を追加する。

（4）その他、分かりやすくするため表記の変更及びイラスト等を追加

3 スケジュール

○令和6年1月まで 部会の実施、部会での案の確定

○2月 障害者差別解消支援地域協議会の委員等へ周知、意見募集

○3月 原稿の最終確定

○令和6年4月以降 墨字版・ルビ版・拡大文字版の印刷、点字版・デージー版の作成、都ホームページへの掲載、行政職員・事業者等へ周知

改訂後ハンドブックの構成について

第1 障害者差別解消法とは 更新

⇒ 改正法及び基本方針に沿って内容を修正・追加

第2 障害者差別を解消するには 更新

1 不当な差別的取扱いの禁止

2 合理的配慮の提供

⇒ 改正法及び基本方針に沿って内容を修正・追加

第3 東京都障害者差別解消条例とは

1 条例制定の背景

2 事業者による「合理的配慮の提供」を義務化 更新

⇒ 法の上乗せに係る内容を修正

3 相談体制について

4 紛争解決の仕組み

5 共生社会実現のための基本的施策 更新

⇒ 東京都手話言語条例について記載

第4 様々な場面における対応の例 更新

1 対応の基本と考え方 2 様々な場面における対応の例

⇒ 各コラム等を時点更新、情報アクセシビリティ法に関する追記

第5 障害特性について 更新

1 視覚障害 2 聴覚障害 3 盲ろう 4 肢体不自由 5 構音障害 6 失語症

7 高次脳機能障害 8 内部障害 9 重症心身障害・その他医療的ケアが必要な者

10 知的障害 11 発達障害 12 精神障害 13 難病

⇒ 各障害特性につき配慮事項や事例等の追記

第6 相談体制の整備等 更新

⇒ 相談窓口や参考情報の追記・変更等